

神谷 雄三 議員

通勤快速の深夜帯、戸田公園駅停車を「実現に向け粘り強く要望」

議員 埼京線への市民の要望は、本数の増加、終電時間の繰り下げ、女性専用車運行の時間帯拡大などがある。このほか、深夜の通勤快速を戸田公園駅に停めるよう願っている通勤客が多くいる。JRは乗客を川越まで早く届けることを優先させることから、戸田公園駅への停車を実施しないが、埼京線は戸田市民、旧浦和・与野市民の犠牲と協力で敷設されたものであり、JRの言い分はどこか間違っている。埼京線の通勤快速停車駅以外では、戸田公園駅の乗車人員は一日平均で約2万9千人で、他の駅より頭一つ抜けている。夜間だけでも市内3駅利用者も赤羽から戸田公園駅まで乗せて、普通列車

の混雑を緩和させ、通勤快速を戸田公園駅に停めるようJRに強力に要請するべきである。

市民生活部長 夜間の通勤快速を快速運行にするために、JRに乗客の利用状況を再度調査して実現に向け検討されるよう粘り強く要望していく。

安全な本町交差点に

議員 本町交差点西南角のビルは都市計画事業による道路拡幅実行までを見越して壁面後退していない。このため主要交



▲一歩間違えれば……安全な歩道づくりを

差点にもかかわらず、歩道幅は160cmしかなく、自転車待ちはいると他の人は通れなくなる。歩道すれすれに走るバイクに接触しうにもなる危険さである。国に角地ビルの底地を買い上げてもらうか、市で先行取得すべきではないか。

都市整備部長 通行者の安全確保が必要であり、国に優先的整備を粘り強く要望していく。市としても先行取得が可能かどうか調査・研究していく。

一般質問

議員 高齢者の肺炎は、重度化しやすく、死因の第4位である。また、肺炎球菌の抗生物質の耐性化も問題になっている。インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの両方の接種は、肺炎による入院や死亡のリスクを軽減する効果があるほか、医療費の削減にもつながるとの報告もある。高齢者福祉と予防医学の観点から、公費助成を行い、ワクチン接種の推進をしてはどうか。

自転車の安全教育の推進を

議員 子どもの発達段階に応じた交通安全教育や危険予測教育の取り組みはどうか。

鈴木 麗子 議員

肺炎球菌ワクチン接種に公費助成を「有効性も高いと思われる」

議員 子どもの発達段階に応じた交通安全教育や危険予測教育の取り組みはどうか。

教育部長 小学校は、学校安全計画に基づき、学級・学年集会や家庭を使った実技体験等の安全教育を計画的・継続的に取り組んでいる。危険予測教育は、各学科や学級活動で発達段階に応じた指導をしている。子ども青少年部長 保育園・幼稚園では年間安全指導に基づき行っているが、危険予測教育は実施していない。

共同住宅の住戸外バリアフリー化は

議員 埼玉県の指標とするバリアフリー化率を今後どのように進めるのか。

都市整備部長 市内203カ所の調査を基礎資料として、入居実態や費用助成等、他市を参考に検討する。



▲安全な自転車の乗り方も学んでいます(戸田第二小にて)

議員 救急車の出動状況(回数・搬送人員・傷病程度)と、救急救急士の出動体制の実態、AEDの使用状況を伺う。

消防長 平成19年は出動回数5215件、搬送人員4701人で、死亡49人、重症386人、中等症1523人、軽症2741人、その他2人。救急救急士は現在26人で、救急車には必ず1名以上同乗している。19年中のAED使用は72人であった。

議員 救急搬送の病院収容までの平均時間と、「たらい回し」防止策は。

消防長 平均32分。過去3年間では全体の約80%が1回の問い合わせで医療機関へ収容されている。総務省消防庁は本年1月、厚生労働省に対し、救急医療体制の整備について救急医療情報システムの改善などの申し入れを行った。消防としては、迅速・的確な救急活動を行うため、医療機関の選定マニュアルを作成し、防止に努めていきたい。



▲円滑な救急搬送に向けて訓練が行われています

市民生活部長 本年度末に路線案を作り、21年度の中で路線案をとりまとめたい。

喜沢橋新設信号機下の歩道の段差解消を

議員 歩行者や、特に車いす・自転車利用者の早急な危険解消を図るよう。

都市整備部長 早急にスロープ状に改善するよう、県へ要望していく。

三浦 芳一 議員

救急搬送での「たらい回し」防止策を「医療機関の選定マニュアルで対応」

議員 平成17年6月から東循環の2路線化を要望しているが、その調査・検討の結果を伺う。

toocoパス東循環の2路線化を

とだがきおたけ



▲大型車の通行が激しい氷川町1丁目の交差点

議員 ①オリピック通りの氷川町セブンイレブン前

信号機の設置を

市民生活部長 本市の高齢化進展状況を考慮し、路線を検討していく。

都市整備部長 子どもや女性の被害防止に委託警備員の巡回等に対応し、情報聴取していく。

市民の安全を守るために

議員 塾帰りの子ども達や女性の帰宅が深夜10時を越える状況がある。安全ステーションの対応は。

toocoパス路線の変更を

中名生 隆 議員

「地域要望を踏まえた路線案を推進する」

議員 今回、toocoパスの乗降客調査は、東循環路線案を重点にしているが、南西循環の復路の変更、16時台の運行、逆回り、朝夕の増便等の要望があるが、どうか。

市民生活部長 地域要望を踏まえ、路線案をまとめたい。

高齢化対応の路線検討を

議員 高齢者が病院、買い物、市民活動等、自立した生活ができるtoocoパス路線の体制にすべきである。

市民生活部長 ①警察見解があるが、市では対策が必要と認識している。②笹目小の通学路であり、対策が必要と認識している。③信号機設置間隔が短いとの警察見解はあるが、手押し式の信号機であれば、検討はできるとのことである。